

## ロールベールを簡易に運搬するための 「ロールベール荷役具」について

水田で生産される飼料イネ等の国産飼料は、生産体制の多様化につれて外販用の換金作物としての側面が強まり、また輸送も広域化しつつあり、効率的な輸送技術が求められています。そこで、収穫調製された飼料イネの流通に伴う荷役作業を合理化するため、ロールベール用の荷役具を開発しました。

### ☆ 技術の概要

1. ロールベール外形上の特徴(接地面付近で直径が狭まること)を活用し、懸垂力を支持する吊りベルトや底面の補ていロープ、ワンタッチ式ストッパー等により構成されます(図1)。

2. 装着作業は、ロールベールに荷役具を覆いかぶせ、底部の補ていロー

プを締め、ストッパーで補ていロープを固定・結束する手順で行ないます。1個あたりの着脱作業時間は30秒程度です。

3. ロールベールに荷役具を装着することで、既存のフォークリフトやクレーン等で簡易にロールベールを吊り上げできるようになります(図2)。

4. ロールベールを横から挟み込まないため、荷役におけるロールベール側面の変形量が顕著に少なくなります。

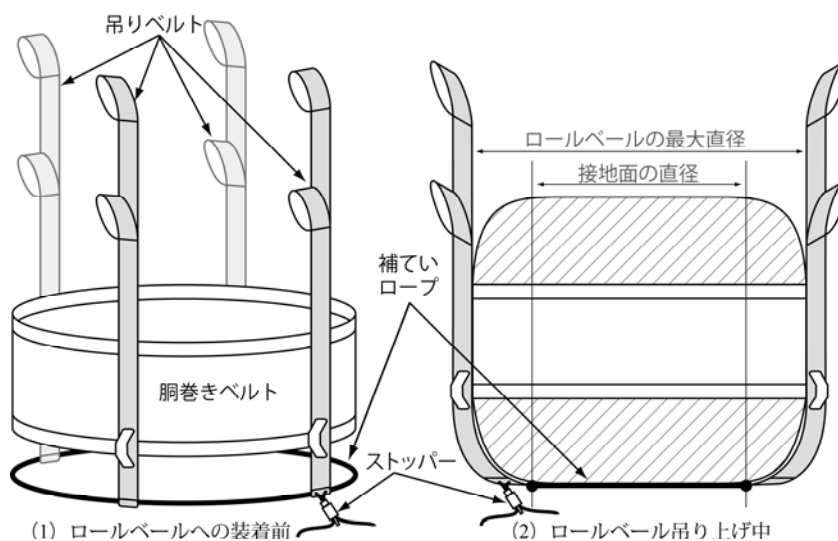


図1. 「ロールベール荷役具」の外観

### ☆ 活用面での留意点

1. 作業前に、荷役具に傷や断裂がないかチェックし、破損のある荷役具は使わないでください。

2. 吊り上げ中は、荷の直下へ人が侵入しないよう注意してください。

3. 詳細については、畜産草地研究所・情報広報課 (TEL : 029-838-8611、問い合わせフォーム <https://form.affrc.go.jp/nilgs-naro/inquiry/form.html>) にお問合せください。

(畜産草地研究所 家畜飼養技術研究領域 松尾守展)



図2. 荷役具とフォークリフトによる、ロールベールの荷役作業